

3. 印刷するための準備をする

ご使用のインターフェースにより、以下の手順に進んでください。

- パラレルインターフェース、USBインターフェースをお使いの場合：
ネットワークの設定は必要ありません。P.54 「ソフトウェアをインストールする」に進んでください。
- イーサネットをお使いの場合：
次の「イーサネットを使用するときの設定」を行った後にP.54 「ソフトウェアをインストールする」に進んでください。
- IEEE 1394をお使いの場合：
「IEEE 1394を使用するときの設定」を行った後にP.54 「ソフトウェアをインストールする」に進んでください。
- 無線LANをお使いの場合：
「無線LANを使用するときの設定」を行った後にP.54 「ソフトウェアをインストールする」に進んでください。

補足

- イーサネットをお使いになる場合は、オプションのイーサネットボードが必要です。
- IEEE 1394をお使いになる場合は、オプションの拡張1394ボードが必要です。
- 無線LANをお使いになる場合は、オプションの拡張無線LANボードが必要です。

ネットワーク環境の設定をする

プリンターの操作パネルを使ってネットワークに関する設定をします。

TCP/IPをご利用できる環境でIPアドレスに関する設定をする場合は、Infoprint AdministratorやWebブラウザも使用できます。

3 イーサネットを使用するときの設定

使用するネットワーク環境に応じて必要な項目を設定します。

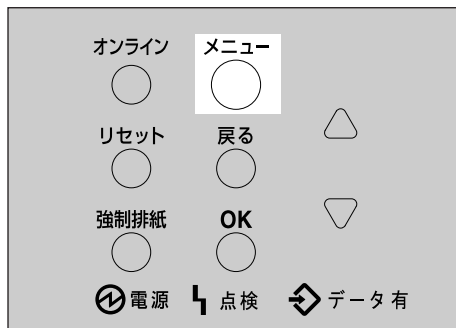
設定できる項目と工場出荷時の値は次のとおりです。

項目名	工場出荷時
1.DHCP	Off
2.IPアドレス	011.022.033.044
3.サブネットマスク	000.000.000.000
4.ゲートウェイアドレス	000.000.000.000
5.NWフレームタイプ	ジドウセンタク
6.有効プロトコル	スベテユウコウ
7.イーサネット速度 ^{*1}	ジドウセッテイ
8.I/F選択 ^{*2}	イーサネット

^{*1} 必要に応じて設定してください。詳しくは P.189 「インターフェース設定メニューの設定項目」を参照してください。

^{*2} イーサネットと無線LAN装着時に表示されます。アクセスコントロールとアクセスマスクに関しては、CD-ROMに収録されている使用説明書<プリンターネットワーク編>を参照してください。

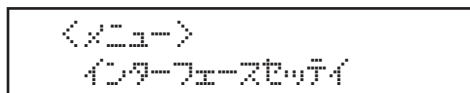
- 1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



ZFCP020J

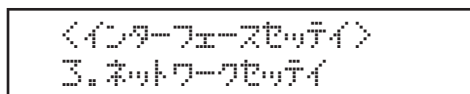
メニュー画面が表示されます。

- 2 【▲】または【▼】キーを押して、「インターフェースセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。



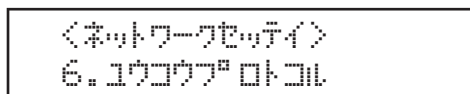
インターフェース設定画面が表示されます。

- 3 【▲】または【▼】キーを押して、「3.ネットワークセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。



ネットワーク設定画面が表示されます。

- 4 【▲】または【▼】キーを押して、「6.ユウコウプロトコル」を表示させ、【OK】キーを押します。



ユウコウプロトコル設定画面が表示されます。

- 5** **【▲】** または **【▼】** キーを押して、プロトコルを選択し、**【OK】** キーを押します。

```
<ネットワークプロトコル>
1. TCP/IP
```

ここではTCP/IPを有効にする例で説明します。

有効／無効選択画面が表示されます。

- 1** **【▲】** または **【▼】** キーを押して、有効か無効かを表示させ、**【OK】** キーを押します。

```
<TCP/IP>
*On
```

設定が確定し、約2秒後に**5**の画面に戻ります。

- 2** 他のプロトコルも同様に設定し、**【戻る】** キーを押します。

4の画面が表示されます。

制限

- AppleTalkを使用するにはオプションのPostScript 3を含んだモジュールが必要です。

補足

- 工場出荷時の設定はすべて有効に設定されています。
- ご使用にならないプロトコルは無効にしておくことを推奨します。
- NetWare5JのピュアIP環境でお使いになる場合は、TCP/IPプロトコルを有効にしてください。

- 6** 工場出荷時はDHCPが無効になっています。DHCP環境で本機をお使いになる場合、手順**7**にお進みください。固定したIPアドレスで本機をお使いになる場合、手順**8**にお進みください。

重要

- DHCPが有効になっていると、以下の設定を行うことができません。
 - IPアドレス
 - サブネットマスク
 - ゲートウェイアドレス

ネットワーク設定について詳しくは、ネットワーク管理者に確認してください。

- 7** DHCPを有効に切り替えます。

- 1** **【▲】** または **【▼】** キーを押して「1.DHCP」を表示させ、**【OK】** キーを押します。

```
<ネットワークセッテイ>
1. DHCP
```

- 2** **【▲】** または **【▼】** キーを押して「On」を表示させ、**【OK】** キーを押します。

```
<DHCP>
*On
```

補足

- 現在の設定値を示す項目の左側には「*」が表示されます。
- 約2秒後ネットワークの設定項目を選択する画面に戻ります。

- 3** 手順**10**へお進みください。

- 8** プリンターに割り当てるIPアドレスを設定します。

補足

- 設定するアドレスはネットワーク管理者に確認してください。

- 1** **【▲】** または **【▼】** キーを押して、「2. IPアドレス」を表示させ、**【OK】** キーを押します。

```
<ネットワークセッテイ>
2. IPアドレス
```

現在設定されているIPアドレスが表示されます。

- 2** **【▲】** または **【▼】** キーを押して、最初のフィールドに値を入力し、**【OK】** キーを押します。

```
<IPアドレス>
192.022.033.044
```

補足

- 変更の必要がないときは**【OK】** キーを押すと次のフィールドに移動します。

- **【▲】** または **【▼】** キーを押し続けると、値が10ずつ変わります。
- ひとつ前のフィールドに移動するときは **【戻る】** キーを押します。

- ③** 他のフィールドも同様に設定し、**【OK】** キーを押します。

```
<IPアドレス>
192.168.000.010
```

設定が確定し、約2秒後に**①**の画面に戻ります。

- 9** TCP/IP プロトコルを使用するときは、同様の手順で「2.サブネットマスク」と「3.ゲートウェイアドレス」の項目を設定します。

- 10** NetWareのフレームタイプを選択します。

選択できるフレームタイプは次のとおりです。

- ジドウセンタク（工場出荷時）
- ETHERNETII
- ETHERNET802.3
- ETHERNET802.2
- ETHERNETSNAP

補足

- 「ジドウセンタク」は起動時最初に検知したフレームタイプに設定されます。したがって複数のフレームタイプが使用可能なネットワークでは目的のフレームタイプに設定されないことがあります。そのときは使用したいフレームタイプを選択してください。

- ①** **【▲】** または **【▼】** キーを押して、「5. NWフレームタイプ」を表示させ、**【OK】** キーを押します。

```
<ネットワークセッテイ>
5. NWフレームタイプ
```

フレームタイプ設定画面が表示されます。

- ②** **【▲】** または **【▼】** キーを押して、フレームタイプを選択し、**【OK】** キーを押します。

```
<NWフレームタイプ>
*ジドウセンタク
```

設定が確定し、約2秒後に**①**の画面に戻ります。

- 11** インターフェースを選択します。

選択できるインターフェースは次のとおりです。

- イーサネット
- IEEE 802.11b

- ①** **【▲】** または **【▼】** キーを押して、「8. I/Fセンタク」を表示させ、**【OK】** キーを押します。

```
<ネットワークセッテイ>
8. I/Fセンタク
```

インターフェース設定画面が表示されます。

- ②** **【▲】** または **【▼】** キーを押して、インターフェースを選択し、**【OK】** キーを押します。

```
<I/Fセンタク>
*イーサネット
```

設定が確定し、約2秒後に**①**の画面に戻ります。

- 12** **【オンライン】** キーを押します。

通常の画面に戻ります。

- 13** システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。

参照

システム設定リストの印刷方法については、P.170「システム設定リストを印刷する」を参照してください。

以上で設定は完了です。P.54「ソフトウェアをインストールする」へ進んでください。

IEEE 1394を使用するときの設定

IEEE1394を使用するとき、プリンターの操作パネルから必要な項目を設定します。

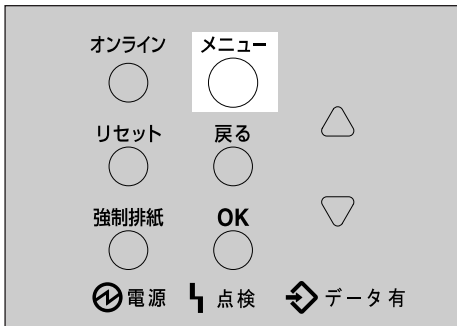
設定できる項目と工場出荷時の値は次のとおりです。

項目名	工場出荷時
1.IPアドレス	000.000.000.000
2.サブネットマスク	000.000.000.000
3.IP over 1394	ユウコウ
4.SCSI print	ユウコウ
5.SCSIprntソウホウコウ	スル

ご使用になる接続方法によって、操作パネルからの設定手順が異なります。次の手順番号にしたがって設定してください。

IP over 1394	1 ~ 7 ▶ 8 ~ 8
SCSI print	1 ~ 8 ▶ 8 ~ 8

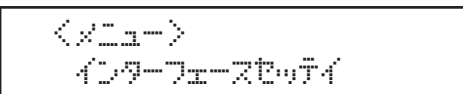
- 1** 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



ZFCP020J

メニュー画面が表示されます。

- 2** 【▲】または【▼】キーを押して、「インターフェースセットイ」を表示させ、【OK】キーを押します。



インターフェース設定画面が表示されます。

- 3** 【▲】または【▼】キーを押して、「5. IEEE 1394セットイ」を表示させ、【OK】キーを押します。



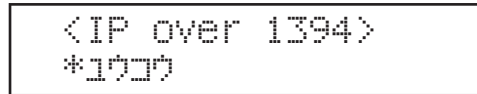
IEEE 1394設定画面が表示されます。

- 4** 【▲】または【▼】キーを押して、「3. IP over 1394」を表示させ、【OK】キーを押します。



IP over 1394設定画面が表示されます。

- 5** 【▲】または【▼】キーを押して、有効か無効かを表示させ、【OK】キーを押します。



設定が確定し、約2秒後に**4**の画面に戻ります。

- 6** プリンターに割り当てる IP アドレスを設定します。

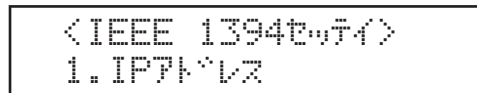
制限

- ネットワーク設定と同じIPアドレス、または同じサブネットにあるIPアドレスを設定しないでください。

補足

- 設定するアドレスはネットワーク管理者に確認してください。

- 1** 【▲】または【▼】キーを押して、「1. IP アドレス」を表示させ、【OK】キーを押します。



現在設定されているIPアドレスが表示されます。

- ② **【▲】** または **【▼】** キーを押して、最初のフィールドに値を入力し、**【OK】** キーを押します。

```
<IPアドレス>
192.000.000.000
```

 **補足**

- 変更の必要がないときは **【OK】** キーを押すと次のフィールドに移動します。
- 【▲】** または **【▼】** キーを押し続けると、値が10ずつ変わります。
- ひとつ前のフィールドに移動するときは **【戻る】** キーを押します。

- ③ 他のフィールドも同様に設定し、**【OK】** キーを押します。

```
<IPアドレス>
192.168.000.010
```

設定が確定し、約2秒後に①の画面に戻ります。

- ⑦ 同様の手順で「2.サブネットマスク」を設定します。

- ⑧ 必要に応じて「4. SCSI print」と「5. SCSIprntソウホウコウ」を設定します。

 **補足**

- 工場出荷時の設定は「4. SCSI print」が「ユウコウ」、「5. SCSIprntソウホウコウ」が「スル」です。

- ⑨ **【▲】** または **【▼】** キーを押して、「4. SCSI print」を表示させ、**【OK】** キーを押します。

```
<IEEE 1394セッテイ>
4.SCSI Print
```

- ⑩ **【▲】** または **【▼】** キーを押して、有効か無効かを表示させ、**【OK】** キーを押します。

- ⑪ 同様の手順で「5.SCSIprntソウホウコウ」を設定します。

- ⑫ **【オンライン】** キーを押します。

通常の画面に戻ります。

- ⑬ システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。

 **参照**

システム設定リストの印刷方法については、P.170「システム設定リストを印刷する」を参照してください。

以上で設定は完了です。P.54「ソフトウェアをインストールする」へ進んでください。

無線LANを使用するときの設定

IEEE 802.11bを使用するときに必要な項目を設定します。

設定できる項目と工場出荷時の値は次のとおりです。

 **操作の前に**

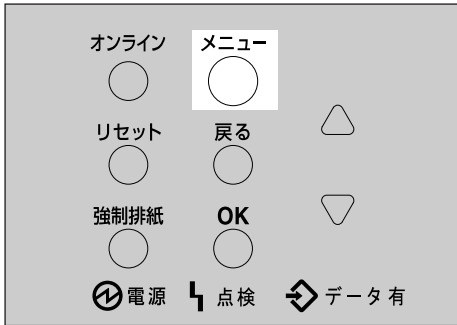
ご使用の環境によって設定する項目が異なります。詳しくは、CD-ROMに収録されている使用説明書<プリンターネットワーク編>を参照してください。

項目名	工場出荷時
1.ツウシンモード	802.11アドホック
2.チャンネル	(1~14) 11
3.ツウシンソクド	ジドウセッテイ
4.SSID	ASSID
5.WEPセッテイ	ムコウ

 **補足**

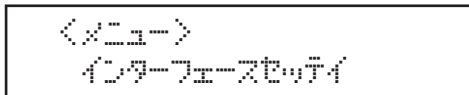
- 無線LANを使用するには、「I/F選択」でIEEE802.11bを選択したあと、ネットワーク設定の「DHCP」「IPアドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイアドレス」「NWフレームタイプ」「有効プロトコル」を設定する必要があります。詳しくは、P.46「イーサネットを使用するときの設定」を参照してください。

- 1** 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



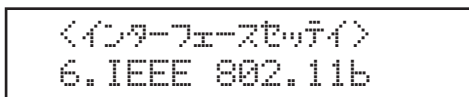
メニュー画面が表示されます。

- 2** 【▲】または【▼】キーを押して、「インターフェイスセットイ」を表示させ、【OK】キーを押します。



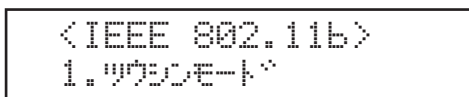
インターフェイス設定画面が表示されます。

- 3** 【▲】または【▼】キーを押して、「6. IEEE 802.11b」を表示させ、【OK】キーを押します。



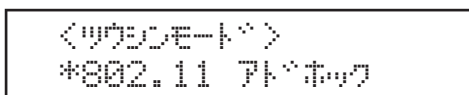
IEEE 802.11b設定画面が表示されます。

- 4** 【▲】または【▼】キーを押して、「1. ツウシンモード」を表示させ、【OK】キーを押します。



ツウシンモード設定画面が表示されます。

- 5** 【▲】または【▼】キーを押して、通信モードを選択し、【OK】キーを押します。



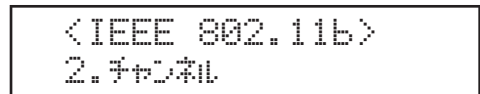
設定が確定し、約2秒後に**10**の画面に戻ります。

- 6** 通信モードで「802.11 アドホック」または、「アドホック」を選択した場合は、通信に使用するチャンネルを設定します。

補足

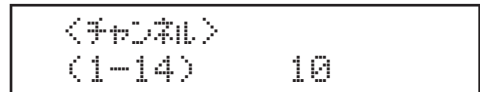
- 設定するチャンネルはネットワーク管理者に確認してください。

- 7** 【▲】または【▼】キーを押して、「2. チャンネル」を表示させ、【OK】キーを押します。



現在設定されているチャンネルが表示されます。

- 8** 【▲】または【▼】キーを押して、チャンネル数値を入力し、【OK】キーを押します。



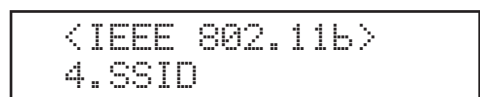
- 9** 同様の手順で「3. ツウシンソクド」を設定します。

- 10** 通信モードで「インフラストラクチャ」または「802.11アドホック」を選択した場合は、通信に使用するSSIDを設定します。

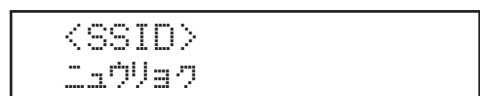
補足

- 設定する SSID はネットワーク管理者に確認してください。

- 1** 【▲】または【▼】キーを押して、「4. SSID」を表示させ、【OK】キーを押します。



SSID設定画面が表示されます。



補足

- SSID を設定済の場合、SSIDを確認することができます。【▲】または【▼】キーを押して「カクニン」を表示させ、【OK】キーを押します。

② 【OK】 キーを押します。

SSID入力画面が表示されます。

SSID:	[0]
-------	-------

補足

- 上段右端[]内の数字は、入力済の桁数を表しています。

③ 【▲】 または 【▼】 キーで文字を選択して、【OK】 キーを押します。

SSID:	[1]
A	

カーソル (■) が次の桁に移ります。

SSID:	[1]
A■	

④ 続けて文字列を入力します。**補足**

- SSID で使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号で32バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。

- 【戻る】 キーを押すと、一つ前の桁に戻ります。

⑤ 文字列の入力が完了したら、【OK】 キーを押します。

設定が確定し、**②-③**の画面に戻ります。

11 ネットワーク内でWEPキーを使用している場合は、通信に使用するWEPキーの設定と、WEPを有効にします。**補足**

- 設定するWEPキーはネットワーク管理者に確認してください。

① 【▲】 または 【▼】 キーを押して、「5.WEPセットイ」を表示させ、【OK】 キーを押します。

<IEEE 802.11b>	
5.WEPセットイ	

次の画面が表示されます。

<WEPセットイ>	
*4コウ	

② 【▲】 または 【▼】 キーを押して「ユウコウ」を表示させ、【OK】 キーを押します。

<WEPセットイ>	
*ユウコウ	

次の画面が表示されます。

<WEPキーへンコウ>	
ズル	

補足

- WEPセットイを"ユウコウ"にした場合、必ずWEPキーの入力が必要です。WEPキーを未入力の場合には、必ず入力してください。

- 既に入力済みで設定の切替を行なう場合には、【▲】 または 【▼】 キーを押して、"シナイ"を表示させて、【OK】 キーを押してください。

③ 【OK】 キーを押します。

WEPキー入力画面が表示されます。

WEPキー	[0]
-------	-------

補足

- 上段右端[]内の数字は、入力済の桁数を表しています。

④ 【▲】 または 【▼】 キーで文字を選択して、【OK】 キーを押します。

WEPキー	[1]
A	

カーソル (■) が次の桁に移ります。

WEPキー	[1]
A■	

続けて文字列を入力します。

 補足

- 64bit WEPを使用する場合は、16進数10桁の文字列が使用できます。128bit WEPを使用する場合には、16進数26桁の文字列が使用できます。
- 入力できる桁数は、10桁か26桁に限られます。それ以外の桁数で入力を完了させると、以下のメッセージがパネルに表示されます。

77777777777777777777777777777777
 (107777726777)

- **【戻る】** キーを押すと、一つ前の桁に戻ります。

5 文字列の入力が完了したら、**【OK】** キーを押します。

設定が確定し、**11-1**の画面に戻ります。

12 **【オンライン】** キーを押します。

通常の画面に戻ります。

13 システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。

 参照

システム設定リストの印刷方法については、P.170「システム設定リストを印刷する」を参照してください。

以上で設定は完了です。P.54「ソフトウェアをインストールする」へ進んでください。

 アドレスについて

❖ サブネットマスク

IP アドレスの一部をネットワークアドレスとして使用するためのマスク値です。

❖ ゲートウェイアドレス

ルーターを越えて別のネットワークのワークステーションとのやり取り(印刷や情報の取得)を行うとき、ゲートウェイとなるホストやルーターのアドレスです。

 補足

- 設定するアドレスはネットワーク管理者に確認してください。
- 設定するアドレスがわからないときは、工場出荷時の設定のままご使用ください。
- ルーターを越えて別のネットワークのワークステーションとやりとりするときは、ゲートウェイアドレスを設定してください。

ソフトウェアをインストールする

本書はWindowsの機能と操作方法について十分ご理解いただいていることを前提に説明しています。Windowsの機能および操作方法の詳細については、Windowsの説明書を参照してください。

パソコンとの接続方法により、プリンタードライバーのインストール方法が異なります。パラレル接続およびイーサネット接続の場合は、「おすすめインストール」もご利用になれます。無線LAN接続の場合は、通信していることを確認のうえ、イーサネット接続と同じ方法でインストールしてください。

- パラレル接続/イーサネット接続⇒P.55 「おすすめインストール」
- パラレル接続/イーサネット接続⇒P.59 「プリンタードライバーのインストール」
- USB接続⇒P.65 「USB接続でのプリンタードライバーのインストール」
- IEEE 1394接続⇒P.67 「IEEE 1394接続でのプリンタードライバーのインストール」

3

オートランプログラムについて

Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0上でCD-ROMをパソコンに挿入すると、オートランプログラムとしてプリンタードライバーやユーティリティなどの各種ソフトウェアのインストーラーが自動的に起動します。

補足

- プラグアンドプレイ機能が働いていると、Windows 2000、Windows XP起動時には[新しいソフトウェアの検出ウィザード]が表示されます。Windows NT 4.0起動時には[新しいソフトウェアの追加ウィザード]が表示されます。Windows 95/98/Me 起動時には、システムのバージョンにより[新しいソフトウェア]または、[デバイスドライバウィザード]が表示されます。この画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックして、CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットし、オートランでインストールしてください。
- OSの設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。
- オートランを無効にしたいときは、左側の**Shift**キーを押しながらCD-ROMを挿入し、パソコンがCD-ROMをアクセスし終わるまで左側の**Shift**キーを押したままにします。
- インストールの途中で[キャンセル]を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。キャンセルした場合は、再起動後、残りのソフトウェアまたはプリンタードライバーをインストールし直してください。

制限

- Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0でインストーラーを使用するときはAdministratorsグループのメンバーとしてログオンしてください。

オートランプログラムでインストールできるソフトウェアは以下のとおりです。

❖ **プリンタードライバー**

Windows から印刷する場合に必要なソフトウェアです。印刷を始める前に必ずインストールしてください。はじめてプリンタードライバーをインストールするときはプリンタードライバーの追加を行います。

重要

- 市販のアプリケーションで個別の指定が必要な場合があります。また、プリンタードライバーの設定と異なる設定になることがあります。それぞれのアプリケーションの説明書を参照してください。

参照

プリンタードライバーの動作環境については、P.78 「プリンタードライバー」を参照してください。

❖ **Infoprint Administrator**

管理者の方が使用するネットワークユーティリティです。詳しくはP.80 「Infoprint Administrator」またはInfoprint Administratorのヘルプを参照してください。

❖ **Infoprint Navigator**

ネットワークプリンターとしてお使いになるときに便利なユーティリティです。詳しくは P.81 「Infoprint Navigator」またはInfoprint Navigatorのヘルプを参照してください。

おすすめインストール

CD-ROM から簡単にソフトウェアをインストールすることができます。[おすすめインストール] ボタンをクリックすると、プリンターをネットワーク接続（拡張無線LANボードを装着して、接続している場合も含みます。）している場合は「RPCS プリンタードライバー」および「Infoprint Navigator」がインストールされ、Infoprint Navigatorポートが設定されます。プリンターをパラレル接続している場合は「RPCS プリンタードライバー」がインストールされ、LPT1ポートが設定されます。設定が完了すると本機器が使用できる状態になります。

補足

- 必要な条件は以下のとおりです。
 - OSがWindows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XP、またはWindows NT 4.0である
 - ネットワーク接続の場合
 - イーサネットケーブルで本機とネットワークが接続されている
 - TCP/IPプロトコルが設定されている
 - 本機とパソコンにIPアドレスが設定されている。
 - 拡張無線LANボードを装着して、正しい設定で接続されている。
 - パラレル接続の場合
 - パラレルケーブルで本機とパソコンが接続されている。
 - 双方向通信が成立している。

重要

- USB接続およびIEEE 1394接続の場合は、ソフトウェアを個別にインストールしてください。
 - USB接続⇒P.65 「USB接続でのプリンタードライバーのインストール」
 - IEEE 1394接続⇒P.67 「IEEE 1394接続でのプリンタードライバーのインストール」

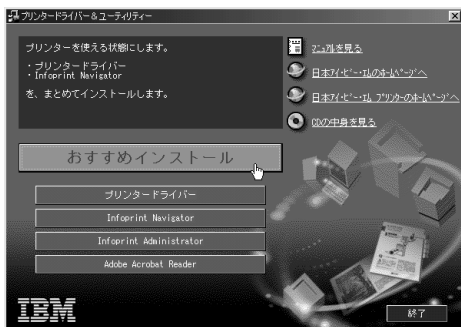
1 パソコンのCD-ROMドライブにCD-ROMを挿入します

インストーラーが起動し、次の画面が表示されます



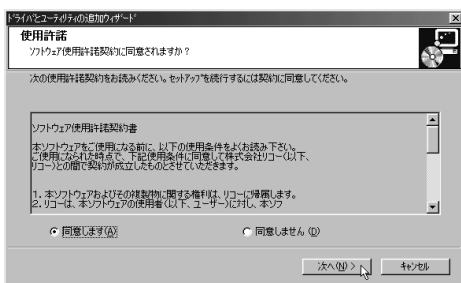
3

2 [おすすめインストール] をクリックします。



[使用許諾] ダイアログが表示されます。

3 ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。



4 [モデル名] をクリックし、使用する機種を選択します。



補足

- ネットワーク接続の場合、[接続先] にIPアドレスが表示されているプリンターを選択します。
- パラレル接続の場合、[接続先] にプリンターポートが表示されているプリンターを選択します。

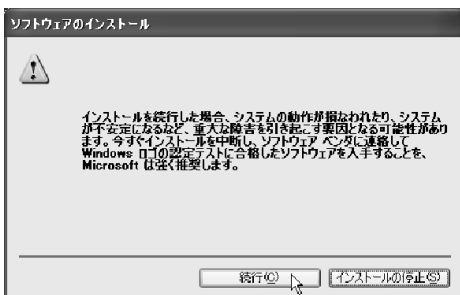
5 [インストール] をクリックします。

次の画面が表示され、プリンタードライバーがインストールされます。



導入完了ダイアログ画面が表示されます。

インストールの途中で、「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、下のような画面が表示されることがあります。その場合、[はい] または [続行] を選択して、インストールを続行してください。



6 [完了] をクリックします。



これでインストールは終了です。

プリンター名を変更するときは、ツールバーの [スタート] ボタンから [プリンタ] または [プリンタとFAX] を表示させて、プリンター名を変更したいプリンターアイコンを右クリックして [名前の変更] を選択して行います。

3

ソフトウェアを個別にインストールする

Infoprint Navigatorのインストール

1 他のアプリケーションをすべて閉じます。

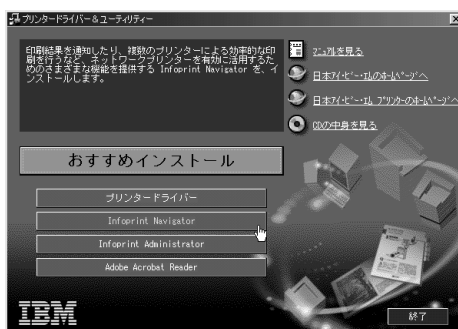
2 CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

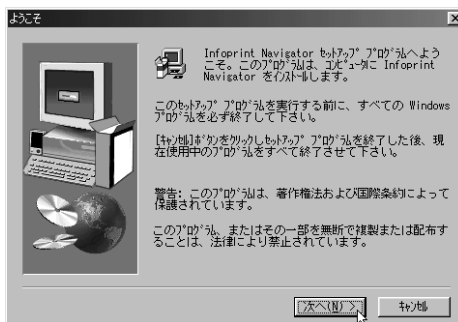
- システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

3 セットアップ画面が表示されたら、[Infoprint Navigator] をクリックします。

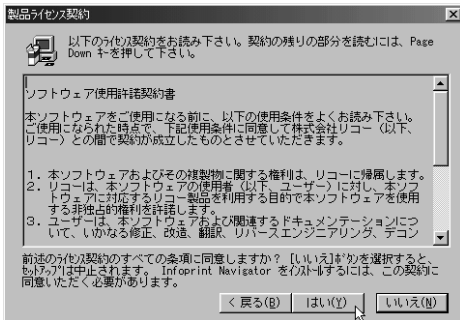


Infoprint Navigatorのインストーラーが起動します。

4 [よろこそ] ダイアログが表示されたら、[次へ] をクリックします。



- 5** [製品ライセンス契約] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[はい] をクリックします。



- 6** 表示されるメッセージに従って Infoprint Navigator をインストールします。

再起動を促すメッセージが表示されたときは、Windows を再起動してください。

プリンタードライバーのインストール

- 1** 他のアプリケーションをすべて閉じます。
- 2** CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

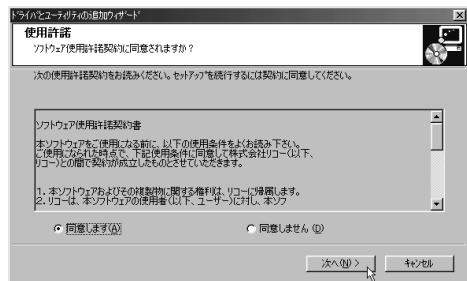
補足

- システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

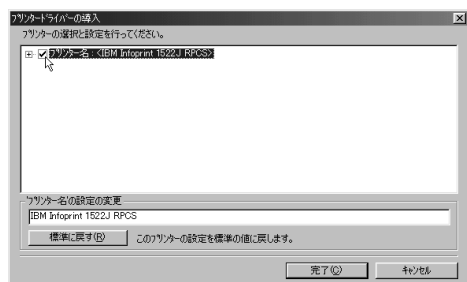
- 3** セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー] をクリックします。



- 4** [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。



- 5** [プリンター名] の左のボックスをクリックし、使用する機種を選択します (✓印を付けます)。プリンター名を変更するときは、[プリンター名の設定の変更] ボックスで変更します。



補足

- 通常使うプリンターに設定されているプリンター名は、太字で表示されます。

- 6** [プリンター名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。



補足

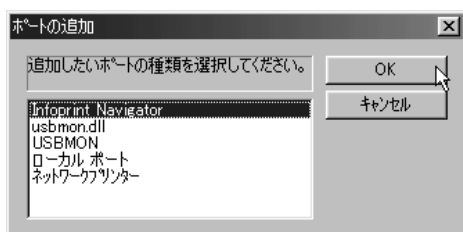
- [コメント:]、[ドライバ:]、[ポート:] は、ご使用のOS、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに適した表示となります。

ネットワーク接続している場合は次の手順**7**に進んでください。パラレル接続している場合は、手順**12**へ進んでください。

- 7** [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。



- 8** 「Infoprint Navigator」 を選択し、[OK] をクリックします。



- 9** プロトコルを選択し、印刷するプリンターを選択します。

TCP/IP

- 1** [TCP/IP] をクリックします。
- 2** [機器検索] をクリックします。



TCP/IP プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

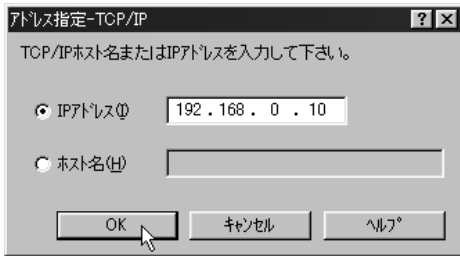


- 3** 印刷するプリンターをクリックして選択します。



補足

- ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定]をクリックし、プリンターのIPアドレスまたはホスト名を直接入力してください。



- 4 [OK] をクリックします。

NetBEUI**補足**

- Windows XPは、NetBEUIには対応していません。

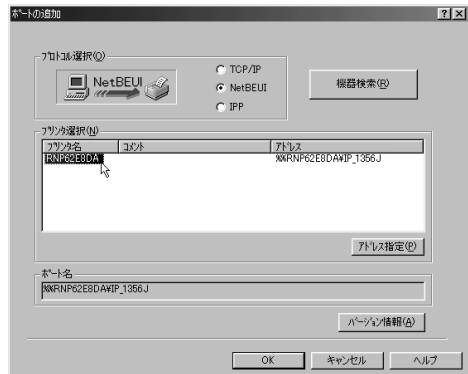
- 1 [NetBEUI] をクリックします。
- 2 [機器検索] をクリックします。



NetBEUIプロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。



- 3 印刷するプリンターをクリックして選択します。



補足

- ここにはコンピューターからのブロードキャストに回答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定] をクリックし、NetBEUIアドレスを直接入力してください。NetBEUIアドレスは、システム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、P.170「システム設定リストを印刷する」を参照してください。システム設定リストではNetBEUIアドレスが「¥¥RNPxxxx¥xxx」と表示されています。先頭の「¥¥」を「%%」に変更して入力してください。



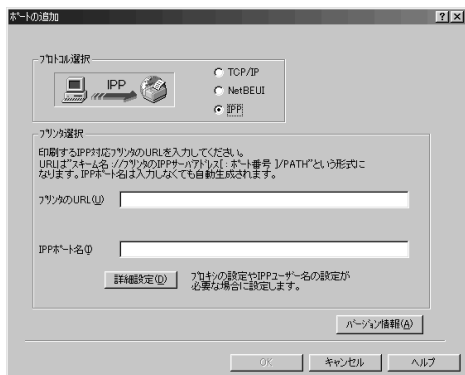
- ルーターを越えたプリンターには印刷できません。

4 [OK] をクリックします。

IPP

1 [IPP] をクリックします。

[IPPの設定] ダイアログが表示されます。



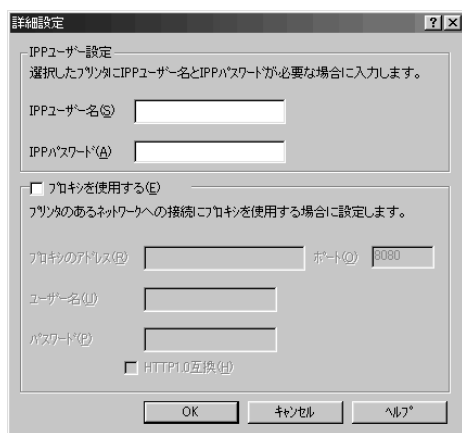
- [プリンターの URL] に印刷するプリンターの IP アドレスを「http:// (プリンターのIPアドレス) /printer」のように入力します。



- 必要に応じて [IPPポート名] にプリンターを区別するための名前を入力します。すでにある他の IPP ポート名と違う名前を入力してください。

入力を省略すると、[プリンターのURL] に入力したアドレスが IPP ポート名に設定されます。

- プロキシサーバーや IPP ユーザー名などの設定を行う場合は、[詳細設定] をクリックし、必要な項目を設定し、[OK] をクリックします。



補足

- 設定項目の詳細については、CD-ROM 収録のヘルプを参照してください。⇒ P.86 「ヘルプ」

- [OK] をクリックします。

ポートの追加ダイアログが閉じます。

10 [OK] をクリックします。

ポートが追加されます。

11 [ポート:] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。**12** プリンターを共有する場合は、[共有] をダブルクリックし、共有の設定を展開します。**補足**

- Windows NT 4.0、Windows 2000/XPでは、代替ドライバーのチェックボックスが表示されます。インストールしたい代替ドライバーをチェックすると、インストールすることができます。

13 [共有] の左のボックスをクリックして✓印を付けます。**14** 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

❖ ユーザーコードの設定

**補足**

- ユーザーコードを設定しておく、各ユーザーコードごとの印刷枚数の統計をとることができ、Infoprint Administratorで確認できます。詳細については、Infoprint Administratorのヘルプを参照してください。
- 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

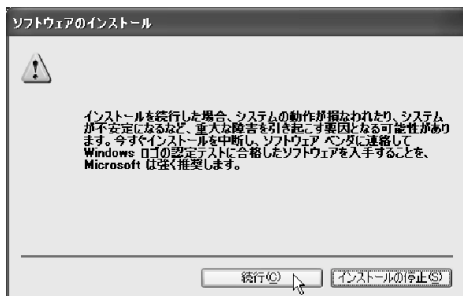
❖ 通常使うプリンターの設定



- 15** [完了] をクリックすると、プリンタードライバーがインストールされます。

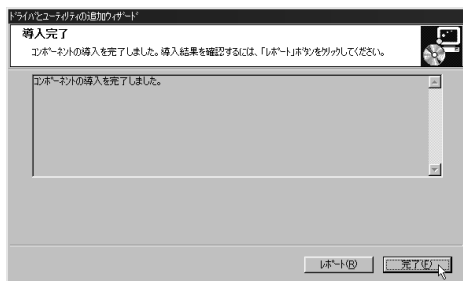
 補足

- インストールの途中で、「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、下のような画面が表示されることがあります。その場合、[はい] または [続行] を選択して、インストールを続行してください。



- 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.75 「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
 - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」

- 16** 導入完了のダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。



 補足

- ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windows を再起動してください。

USB接続でのプリンタードライバーのインストール

ここでは、パソコンとプリンターをUSBケーブルで接続し、必要なドライバーをインストールする方法を説明します。

📁 操作の前に

セットアップを始める前にUSBケーブルを接続するパソコンが以下の状態であることを確認してください。

- OS以外のソフトウェアが起動していない
- 印刷を行っていない

Windows 98 SE/Windows Meをご使用の場合

ここではWindows 98 SEの画面例で説明します。Windows Meの場合、表示される画面などが一部異なる場合があります。

USBケーブルを初めて使用する場合、プラグアンドプレイが働き、[新しいハードウェアの追加ウィザード]が表示されます。

ご使用の機器のプリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイの画面が表示され、[プリンタ]フォルダにUSBケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

1 [次へ] をクリックします。

2 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)] を選択し、[次へ] をクリックします。

3 [検索場所の指定] にチェックを付け、[参照] をクリックします。



[フォルダの参照] ダイアログが表示されず。

4 パソコンのCD-ROMドライブにCD-ROMを挿入します

オートランでインストーラーが起動しますので、[終了] をクリックしてください。

✎ 補足

- ❑ オートランを無効にしたいときは、左側のShiftキーを押しながらCD-ROMを挿入し、パソコンがCD-ROMをアクセスし終わるまで左側のShiftキーを押したままにします。

5 ご使用のOSに合わせてドライバーの場所を選択し、[次へ] をクリックします。

インストールするプリンタードライバーの収録フォルダは、「C:\¥DRIVERS¥USBPRINT ¥WIN98ME」(CD-ROMドライブがC:\¥の場合)です。

6 表示されている[ドライバのある場所]を確認し、[次へ] をクリックします。

USB Printing Supportがインストールされます。

7 [完了] をクリックします。

ご使用の機器のプリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイが働き、[プリンタ]フォルダにUSBケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

- 8** プリンターのプラグアンドプレイ画面に従って、プリンタードライバーをインストールします。

 補足

- プリンタードライバーはCD-ROMからインストールします。インストールするプリンタードライバーの収録フォルダは、P.77 「CD-ROM収録ソフトウェアについて」を参照してください。

インストールが正常に終了すると、「USB00n」を「印刷先のポート先」に指定したプリンターが「プリンタ」ウィンドウに作成されます（「n」はプリンターの接続台数によって異なります）。

インストールが正常に終了すると、「USB00n」を「印刷先のポート先」に指定したプリンターが「プリンタ」フォルダまたは、「プリンタとFAX」フォルダに作成されます（「n」はプリンターの接続台数によって異なります）。

Windows 2000、Windows XPをご使用の場合

 制限

- Administratorグループのメンバーとしてログインしてください。

USB ケーブルを初めて使用した場合、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示され、Windows 2000、Windows XPの「USB印刷サポート」が自動的にインストールされます。

ご使用の機器のプリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイの画面が表示され、「プリンタ」フォルダまたは、「プリンタとFAX」フォルダにUSB ケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

- 1** CD-ROM に収録されている使用説明書<プリンターネットワーク編>を参照してプリンタードライバーをインストールします。

 補足

- プリンタードライバーはCD-ROMからインストールします。インストールするプリンタードライバーの収録フォルダは、P.77 「CD-ROM収録ソフトウェアについて」を参照してください。

IEEE 1394接続でのプリンタードライバーのインストール

プリンタードライバー（IEEE 1394接続）のインストール

ここではIEEE 1394を使用する場合の設定方法を記載しています。IEEE 1394を使用した印刷方法には、SCSI printとIP over 1394があります。

操作の前に

インストールを始める前に全てのアプリケーションを終了し、パソコンが印刷中でないことを確認してください。

重要

- プリンタードライバーのインストール中に他のプリンターの電源を入れたり、新しいIEEE 1394機器を接続しないで下さい。
- プリンタードライバーを削除するときは、削除する前にケーブルを抜いてください。

❖ SCSI printで印刷する場合

SCSI printはWindows 2000とWindows XPで使用することができます。

重要

- 本機の設定で、「SCSI print」を有効にしておく必要があります。設定方法について詳しくは、P.49「IEEE 1394を使用するときの設定」を参照してください。
- Windows 98/Meをインストールしたパソコンと本機を接続したときに「新しいデバイスの検出ウィザード」が表示されたときには、デバイスを無効にしてください。

補足

- 他のパソコンからデータを受信しているときにデータを送ると、他のパソコンからの受信および印刷終了後に、印刷が開始されます。
- 作成されたプリンターのアイコンは、ケーブルを抜くと「プリンターをオフラインで使用する」と表示され、ケーブルを接続すると「準備完了」と表示されません。

• Windows 2000

- ① 本機とパソコンをIEEE 1394インターフェースケーブルで接続します。「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動し、「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」が表示されます。
- ② [次へ] をクリックします。
- ③ 「次のデバイスをインストールします:不明なデバイス」が表示されていることを確認します。
- ④ 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」が選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。「ドライバファイルの特定」が表示されます。
- ⑤ [検索場所のオプション] の [場所を指定] を選択して [次へ] をクリックします。
- ⑥ キーボードの左側の【Shift】キーを押しながら、CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。パソコンがCD-ROMを完全に認識するまで左側の【Shift】キーを押し続けます。CD-ROMのオートランが起動した場合は、[キャンセル] をクリックします。
- ⑦ [参照] をクリックして、使用するドライバーを選択し、[OK] をクリックします。

参照

プリンタードライバーの収録場所については、P.77「CD-ROM収録ソフトウェアについて」を参照してください。

- ⑧ 画面の指示に従ってインストールします。

補足

- インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面が表示されることがありますが、[はい] を選択してインストールを続行してください。
- インストールが正常に終了すると、プリンターフォルダ内には「1394_00n」を [印刷のポート先] に指定したプリンターのアイコンが作成されます。(「n」はプリンターの接続台数によって異なります。)
- SCSI printによる印刷機能をインストールしない場合で、再起動やケーブルの抜き差しをするたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されるときは、以下の手順でデバイスを無効にしてください。
 - ① 「新しいハードウェアの検出ウィザードの開始」で、[次へ] をクリックします。
 - ② 「ハードウェアデバイスドライバのインストール」で、「デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)」が選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。
 - ③ 「ドライバファイルの特定」で、「検索場所のオプション」の全てのチェックを外し、[次へ] をクリックします。
 - ④ 「ドライバファイルの検索」で、「デバイスを無効にする」が選択されていることを確認し、[完了] をクリックします。

• Windows XP

- ① 本機とパソコンをIEEE 1394インターフェースケーブルで接続します。「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動し、「このウィザードでは、次のハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします：(プリンターの名前)」が表示されます。
- ② [一覧または特定の場所からインストールする] を選択し、[次へ] をクリックします。

- ③ 「検索とインストールのオプションを選んでください。」が表示されたら、「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、「次の場所を含める」を選択します。
- ④ キーボードの左側の【Shift】キーを押しながら、CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。パソコンがCD-ROMを完全に認識するまで左側の【Shift】キーを押し続けます。CD-ROMのオートランが起動した場合は、[キャンセル] をクリックします。
- ⑤ [参照] をクリックして、使用するドライバを選択し、[OK] をクリックします。

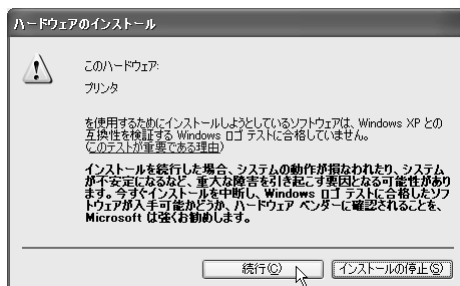
参照

プリンタードライバの収録場所については、P.77「CD-ROM収録ソフトウェアについて」を参照してください。

- ⑥ 画面の指示に従ってインストールします。

補足

- インストールの途中で以下の画面が表示されることがありますが、[続行] を選択してインストールを続行してください。



- インストールが正常に終了すると、[プリンタと FAX] フォルダ内には、「1394_00n」を [印刷のポート先] に指定したプリンターのアイコンが作成されます。(「n」はプリンターの接続台数によって異なります。)

- SCSI printによる印刷機能をインストールしない場合で、再起動やケーブルの抜き差しをするたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されるときは、以下の手順でデバイスを無効にしてください。

- ① 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」で、[次へ] をクリックします。
- ② 「検索とインストールのオプションを選んでください。」が表示されたら、「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、[リムーバブルメディア (フロッピー、CD-ROMなどを検索)]、[次の場所を含める] にチェックが付いていないことを確認し、[完了] をクリックします。
- ③ [このソフトウェアをインストールする確認を今後表示しない] にチェックが付いていることを確認し、[完了] をクリックします。

❖ IP over 1394で印刷する場合

IP over 1394は、Windows MeではInfoprint Navigatorを、また、Windows XPではInfoprint NavigatorおよびStandard TCP/IP Portを使用して印刷することができます。プリンタードライバのインストール方法、Infoprint Navigatorを使用したプリンターへの接続方法は、P.54「ソフトウェアをインストールする」を参照してください。

❗重要

- 本機の設定で「IP over 1394」を有効にしておく必要があります。設定方法については、設定方法について詳しくは、P.49「IEEE 1394を使用するときの設定」を参照してください。
- IEEE 1394インターフェースをネットワークに使用している場合、イーサネットインターフェースは同一のネットワーク範囲では使用できません。
- IEEE 1394インターフェースとイーサネットインターフェースのサブネットマスクの範囲は重ならないように設定してください。
- Windows NT 4.0をインストールしたパソコンと本機を接続したときに「新しいデバイスの検出ウィザード」が表示されたときには、デバイスを無効にしてください。

📎補足

- Windows Meでご使用の場合に、再起動やケーブルの抜き差しをするたびに「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動されてしまう場合には、以下の手順でデバイスを無効にしてください。

- ① 「次の新しいハードウェアが見つかりました」と表示されたら、「(お使いの機種名) IEEE 1394 SBP2 Device」と表示されていること、「適切なドライバを自動的に検索する (推奨)」が選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。
- ② 「このデバイス用のソフトウェアが見つかりませんでした。」と表示されるので、[完了] をクリックします。

ポートの設定を変更する

IPPのURLやプロキシサーバーの設定など、Infoprint Navigatorの設定を変更することができます。

📎補足

- NetBEUIプロトコルには設定項目がありません。

- 1 [プリンタ] ウィンドウで、印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

📎補足

- Windows XPでは、[プリンタとFAX] ウィンドウで印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[プリンタのプロパティの設定] をクリックします。

2 [詳細] タブをクリックし、[ポートの設定] をクリックします。



ポートの設定画面が表示されます。

補足

- Windows 2000、Window XP、Windows NT 4.0では、[ポート] タブをクリックし、[ポートの設定] をクリックします。[ポートの構成] 画面が表示されます。
- TCP/IPプロトコルの場合、代行印刷、並行印刷、タイムアウト、プリンターグループの設定ができます。



補足

- [代行印刷/並行印刷] タブの項目を設定できないときは、次のよう操作すると設定できるようになります。
 - ① [キャンセル] をクリックして、[ポートの設定] ダイアログを閉じます。
 - ② Infoprint Navigatorを起動し、タスクバーのInfoprint Navigatorアイコンを右クリックします。
 - ③ [拡張機能設定] をクリックし、[代行/並行印刷をポート毎に設定する] にチェックをつけます。

- ④ [OK] をクリックし、[拡張機能設定] ダイアログを閉じます。

□ 各設定項目の詳細は、Infoprint Navigator のヘルプを参照してください。

- IPPの場合、IPPユーザー設定やプロキシなどの設定ができます。



補足

- 詳細は、Infoprint Navigatorのヘルプを参照してください。

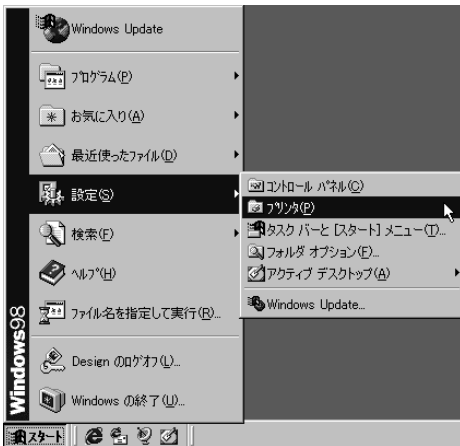
Windows 95/98/Meのオプションセットアップ

本機とパソコンが双方向通信していないときは、本機に取り付けたオプション、セットした用紙のサイズ・方向を設定する必要があります。ここでは、Windows 98の画面で説明します。

参照

双方向通信の詳細については、P.76「双方向通信が働く条件」を参照してください。

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。



[プリンタ] ウィンドウが表示されます。

- 2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。



次の画面が表示されます。

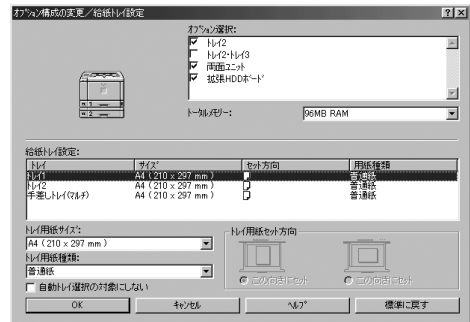


補足

- この画面は、インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に表示されます。それ以外の場合は、手順7の画面が表示されます。

- 3 [OK] をクリックします。

- 4 [オプション選択] ボックスで、取り付けたいオプションをチェックして✓印を付けます。



補足

- 「システム設定リスト」を印刷して、搭載しているメモリーを確認のうえ、正しく設定してください。

参照

「システム設定リスト」の印刷方法はP.170「システム設定リストを印刷する」を参照してください。

- 5 [給紙トレイ設定] で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、[トレイ用紙サイズ]・[トレイ用紙方向]・[トレイ用紙種類] を正しく設定します。

- 6 [OK] をクリックします。

7 [OK] をクリックします。

補足

- [初期設定] タブをクリックして [オプション構成の変更/給紙トレイ設定] をクリックすると、手順**4**の画面が表示されます。

プロパティが閉じます。

3

Windows 2000、Windows NT 4.0のオプションセットアップ

本機とパソコンが双方向通信していないときは、本機に取り付けたオプション、セットした用紙のサイズ・方向を設定する必要があります。ここでは、Windows 2000の画面で説明します。

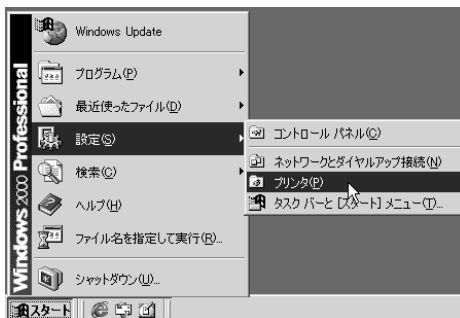
制限

- Windows 2000でご使用の場合、[プリンタ]フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス許可が必要です。AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- Windows NT 4.0でご使用の場合、[プリンタ]フォルダでプリンタープロパティを変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

参照

双方向通信の詳細については、P.76「双方向通信が働く条件」を参照してください。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

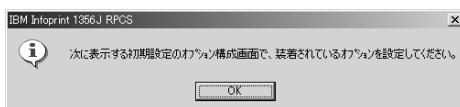


[プリンタ] ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル]メニューの [プロパティ] をクリックします。



次の画面が表示されます。



補足

- この画面は、インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に表示されます。それ以外の場合は、手順**4**の画面が表示されます。

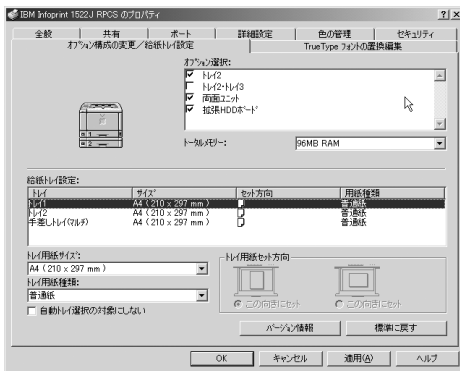
3 [OK] をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

4 [オプション構成の変更/給紙トレイ設定] タブをクリックします。



5 [オプション選択] ボックスで、取り付けたいオプションをチェックして、✓印を付けます。



補足

- 「システム設定リスト」を印刷して、搭載しているメモリーを確認のうえ、正しく設定してください。

参照

「システム設定リスト」の印刷方法は P.170 「システム設定リストを印刷する」を参照してください。

6 [給紙トレイ設定] で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、[トレイ用紙サイズ]・[トレイ用紙セット方向]・[トレイ用紙種類] を正しく設定します。

7 [OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

Windows XPのオプションセットアップ

本機とパソコンが双方向通信していないときは、本機に取り付けたオプション、セットした用紙のサイズ・方向を設定する必要があります。

制限

- Windows XP Professionalでご利用の場合、[プリンタとFAX]フォルダでプリンタプロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス許可が必要です。Administrators、またはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

参照

双方向通信の詳細については、P.76「双方向通信が働く条件」を参照してください。

1 [プリンタとFAX] ウィンドウを表示します。

Windows XP Professionalでご利用の場合

1 [スタート] ボタンをクリックし、[プリンタとFAX] をクリックします。



[プリンタとFAX] ウィンドウが表示されます。

Windows XP Home Editionでご使用の場合

- 1 [スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。



- 2 [プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。



- 3 [プリンタとFAX] をクリックします。



[プリンタとFAX] ウィンドウが表示されます。

- 2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル]メニューの [プロパティ] をクリックします。



次の画面が表示されます。



補足

- この画面は、インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に表示されます。それ以外の場合は、手順4の画面が表示されます。

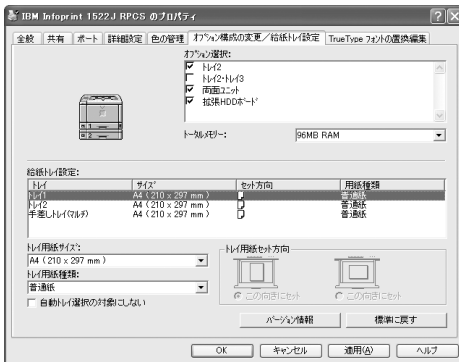
- 3 [OK] をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

- 4 [オプション構成の変更/給紙トレイ設定] タブをクリックします。



- 5** [オプション選択] ボックスで、取り付けたオプションをチェックして ✓ 印を付けます。



補足

- 「システム設定リスト」を印刷して、搭載しているメモリーを確認のうえ、正しく設定してください。

参照

「システム設定リスト」の印刷方法は P.170 「システム設定リストを印刷する」を参照してください。

- 6** [給紙トレイ設定] で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、[トレイ用紙サイズ]・[トレイ用紙セット方向]・[トレイ用紙種類] を正しく設定します。

- 7** [OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

💡 プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき



上記のような (58) のメッセージ、または (34) のメッセージが表示されたときは、オートランプログラムによるインストールはできません。[プリンタの追加] または [プリンタのインストール] でインストールし直してください。

❖ Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合

- ① [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。
- ② [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。
- ③ プリンターの追加ウィザードに従ってインストールします。
プリンタードライバーのディスクが CD-ROM の場合、RPCS のインストール元は CD-ROM の ¥DRIVERS¥RPCS¥WIN9X_ME、¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XP、または ¥DRIVERS¥RPCS¥NT4 になります。インストーラーが起動したときは [キャンセル] をクリックして終了させます。

❖ Windows XP Professionalの場合

- ① [スタート] ボタンをクリックし、[プリンタとFAX] をクリックします。
- ② [プリンタのインストール] をクリックします。
- ③ プリンターの追加ウィザードに従ってインストールします。
プリンタードライバーのディスクが CD-ROM の場合、RPCS のインストール元は CD-ROM の ¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XP になります。インストーラーが起動したときは [キャンセル] をクリックして終了させます。

❖ Windows XP Home Editionの場合

- ① [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
- ② [プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。
- ③ [プリンタとFAX] をクリックします。

- ④ [プリンタのインストール] をクリックします。
- ⑤ プリンタの追加ウィザードに従ってインストールします。
プリンタドライバのディスクがCD-ROMの場合、RPCSのインストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XPになります。インストーラーが起動したときは[キャンセル]をクリックして終了させます。

双方向通信が働く条件

双方向通信が働いていると、プリンタにセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに伝わります。またパソコン側からもプリンタの状態を確認することができます。

❖ プリンタとパソコンを直接ケーブルで接続している場合

- パソコンが双方向通信に対応している
 - プリンタのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている
- 上記2つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。
- プリンタの平行コネクタとパソコンの平行コネクタが、双方向通信に対応したインターフェースケーブルで接続されている
 - プリンタのUSBコネクタとパソコンのUSBコネクタが、USBケーブルで接続されている (Windows 98 SE/Me、Windows 2000/XPの場合)
 - 拡張1394ボード (オプション)のコネクタとパソコンのIEEE 1394コネクタが、ケーブルで接続されている (Windows 2000/XPの場合)

補足

- プリンタの操作パネルでIEEE 1394の「SCSI print」が「有効」で「SCSI print双方向」が「する」に設定されている必要があります。

❖ ネットワークで接続している場合

- プリンタのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている
 - Infoprint Navigatorがインストールされている
- 上記2つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。
- Infoprint Navigatorポートを使用し、プロトコルにTCP/IPを使っている
 - 標準TCP/IPポートのポート名を変更しないで使っている (Windows 2000/XPの場合)
 - Microsoft TCP/IP印刷 IPアドレスを指定して使っている (Windows NT 4.0の場合)
 - IPPプロトコル使用時に、ポート名にIPアドレスを含んでいる

補足

- Infoprint NavigatorはCD-ROMからインストールしてください。

CD-ROM収録ソフトウェアについて

ファイル一覧

CD-ROM	SETUP.EXE Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XP、Windows NT 4.0で動作する、プリンタードライバーやユーティリティのインストーラーです。何らかの要因でオートランが働かない場合は、このプログラムを起動します。		
DRIVERS ⇒ P.78	RPCS	WIN9X_ME	Windows 95/98/Me用プリンタードライバー
		NT4	Windows NT 4.0用プリンタードライバー
		WIN2K_XP	Windows 2000、Windows XP用プリンタードライバー
	USBPRINT	WIN98_ME	USB Printing Support ドライバー
NETWORK	INFOPRINT	NAVI ⇒ P.81	Infoprint Navigator
		ADMIN ⇒ P.80	Infoprint Administrator
UTILITY	1394	拡張1394ボード（オプション）用ツール	
FONTS ⇒ P.83	WIN95NT	TrueTypeWorld Windows 版	
HELP ⇒ P.86	WSMHLP	JA	Webブラウザによる管理（日本語）
		EN	Webブラウザによる管理（英語）
MANUAL	使用説明書<取り扱い編>（本書）PDFファイル 使用説明書<ネットワーク編>PDFファイル		
ACROREAD	Acrobat Reader		

CD-ROMの内容は次の手順で見ることができます。

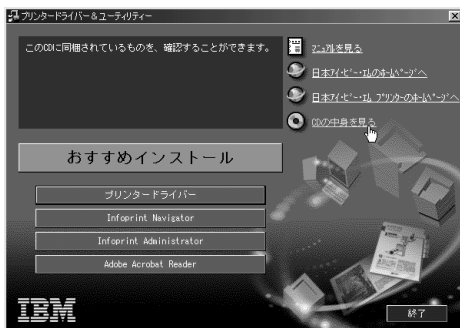
1 CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

- システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 [CDの中身を見る] をクリックします。



エクスプローラーが起動し、CD-ROMの内容が表示されます。

プリンタードライバー

プリンタードライバーは、Windowsから印刷するために必要なソフトウェアです。印刷するためには、必ずインストールする必要があります。

RPCSプリンタードライバー

❖ ファイル格納場所

CD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

- Windows 95/98/Me用プリンタードライバー
DRIVERS¥RPCS¥WIN9X_ME

✎ 補足

Windows 98用、Windows Me用のプリンタードライバーは、Windows 95用と共通です。

- Windows 2000、Windows XP用プリンタードライバー
DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XP

✎ 補足

Windows XP用のプリンタードライバーは、Windows 2000用と共通です。

- Windows NT 4.0用プリンタードライバー
DRIVERS¥RPCS¥NT4

❖ RPCSプリンタードライバーの動作環境

- パソコン

対象OSが問題なく動作する、IBM Thinkpadシリーズ、Netvistaシリーズ、PC/AT互換機、NEC PC-9800シリーズ、PC-9821シリーズ、PC98-NXシリーズ

● 制限

Windows NTで使用する場合、RISCベースのプロセッサ (MIPS Rシリーズ、Alpha AXP、Power PC) 環境では動作しません。

- 対象OS
 - Microsoft Windows 95 日本語版
 - Microsoft Windows 98、98SE 日本語版
 - Microsoft Windows Me 日本語版
 - Microsoft Windows XP Professional
 - Microsoft Windows XP Home Edition
 - Microsoft Windows 2000 Server 日本語版
 - Microsoft Windows 2000 Advanced Server 日本語版
 - Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
 - Microsoft Windows XP Home Edition 日本語版
 - Microsoft Windows XP Professional 日本語版
 - Microsoft Windows NT Server 4.0 日本語版
 - Microsoft Windows NT Workstation 4.0 日本語版
- ディスプレイ解像度
 - 800×600ドット以上

参照

プリンタードライバーについての詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

USB印刷サポート

USBインターフェース用のファイルです。

Windows 98 SE/MeでUSB接続するときは、USB印刷サポートをインストールしてください。インストール方法については、P.65 「USB接続でのプリンタードライバーのインストール」を参照してください。

❖ ファイル格納場所

CD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

DRIVERS¥USBPRINT¥WIN98ME

Infoprint Administrator

Infoprint AdministratorはTCP/IPプロトコル、IPX/SPXプロトコルを使ってネットワーク上のプリンターを監視するソフトウェアです。IP アドレスを持つ複数のネットワークプリンターの管理が可能です。ネットワーク管理者の方がお使いになることをお勧めします。

❖ ファイル格納場所

CD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

NETWORK\INFOPRINT\ADMIN

❖ プロトコルスタック

対象OS	プロトコルスタック
Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版	Windows 95/98/Meに付属のTCP/IPプロトコル Windows 95/98/Meに付属のIPX/SPX互換プロトコル Windows 95/98/Meに付属のNetWareネットワーククライアント NetWare Client32 for Windows 95 IntranetWare Client for Windows 95 Novell Client for Windows 95/98
Microsoft Windows 2000 日本語版	Windows 2000に付属のTCP/IPプロトコル Windows 2000に付属のIPX/SPXトランスポート Windows 2000に付属のNetWare用クライアント Novell Client for Windows NT/2000/XP
Microsoft Windows XP日本語版	Windows XPに付属のTCP/IPプロトコル Windows XPに付属のIPX/SPXトランスポート Windows XPに付属のNetWare用クライアント Novell Client for Windows NT/2000/XP
Microsoft Windows NT 4.0 日本語版	Windows NT 4.0に付属のTCP/IPプロトコル Windows NT 4.0に付属のIPX/SPX互換プロトコル Windows NT 4.0に付属のClient Service for NetWare NetWare Client32 for Windows NT IntranetWare Client for Windows NT Novell Client for Windows NT/2000/XP

補足

- プロトコルスタックは、ご使用のOSに最適なものを選択してください。

❖ どんなことができるのか？

Infoprint Administratorでは以下の操作ができます。

- 本機のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
- 本機のネットワークに関する設定を変更できます。
- プリンターで印刷したページ数をユーザーコード別に確認できます。
- パソコンから行ったジョブの結果を確認できます。
- 機器の操作パネルからの設定を制限し、一部の項目を変更できないようにします。
- 機器にセットされている用紙の種類を設定できます。
- 省エネモードへの切り替え、復帰などを設定できます。

- 印刷中、用紙切れなどの情報をパソコン上で確認できます。
- 同時に複数のプリンターを監視できます。プリンターの台数が多いときはグループを作り、管理しやすいようにプリンターを分類できます。

参照

Infoprint Administratorの使いかたについては、ヘルプを参照してください。

Infoprint Navigator

Infoprint Navigatorは以下のような機能を備えたソフトウェアです。プリンターをご使用になるすべての方がインストールされることをお勧めします。

- Windows 95/98/Me、Windows 2000/XP、Windows NT 4.0からTCP/IPプロトコル、NetBEUI、IPPを使用して、Peer-to-Peerネットワークで印刷する機能を提供します。(Windows XPでNetBEUIは使用できません。)
- TCP/IPプロトコル、IPX/SPXプロトコルを使用してネットワークにある機器の状態を常に監視できる機能を提供します。

❖ ファイル格納場所

CD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

NETWORK\INFOPRINT\NAVI

❖ プロトコルスタック

対象OS	プロトコルスタック
Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版	Windows 95/98/Meに付属のTCP/IPプロトコル Windows 95/98/Meに付属のNetBEUIプロトコル Windows 95/98/Meに付属のIPX/SPXプロトコル NetWare Client32 for Windows 95 Intranetware Client for Windows 95 Novell Client for Windows 95/98
Microsoft Windows 2000 日本語版	Windows 2000に付属のTCP/IPプロトコル Windows 2000に付属のNetBEUIプロトコル Windows 2000に付属のIPX/SPXトランスポート Novell Client for Windows NT/2000/XP
Microsoft Windows XP日本語版	Windows XPに付属のTCP/IPプロトコル Windows XPに付属のIPX/SPXトランスポート Windows XPに付属のNetWare用クライアント Novell Client for Windows NT/2000/XP
Microsoft Windows NT 4.0 日本語版	Windows NT 4.0に付属のTCP/IPプロトコル Windows NT 4.0に付属のNetBEUIプロトコル Windows NT 4.0に付属のIPX/SPXトランスポート NetWare Client for Windows NT Intranetware Client for Windows NT Novell Client for Windows NT/2000/XP

補足

- プロトコルスタックは、ご使用のOSに最適なものを選択してください。

❖ どんないことができるのか？

Infoprint Navigatorでは以下の操作ができます。

- Peer-to-Peerプリント機能
 - プリントサーバーが無くても、直接ネットワークプリンターに印刷できます。
- 指定したプリンターにジョブがたまっていたり、エラーが発生して印刷できないとき、代わりにプリンターに印刷できます（代行印刷）。
- 複数部数の印刷を複数のプリンターに割り振って印刷できます（並行印刷）。
- 並行/代行印刷に指定するプリンターをあらかじめグループ登録できます。
- 印刷データを転送中または印刷中に指定したプリンターにエラーが発生した場合、エラーメッセージを通知させることができます。
- 印刷が完了したときに、[印刷通知] ウィンドウを表示して、印刷の完了を通知することができます。また代行印刷したときだけ表示させるなど、印刷条件により通知するかどうかを設定することができます。
- 機器監視機能
 - 印刷中、用紙切れなど機器の情報をパソコン上で確認できます。
 - 複数台の機器を使い分けるときは、それらを同時に監視できます。
 - 機器のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
 - ユーザー IDを使ったジョブの履歴を確認できます。

● 制限

- 代行印刷/並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターのオプション構成を一致させてください。印刷に必要なオプション（例えばオプションの給紙テーブルなど）が代行プリンターに装着されていない場合、オプションを使用する機能は無効になります。
- 代行印刷/並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターに同じサイズ of 用紙をセットしてください。特定の給紙トレイを指定して印刷するときは、同じトレイに同じサイズの用紙をセットしてください。
- 代行印刷/並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターの機種や装備が違う場合、印刷結果が同じにならないことがあります。
- 試し印刷や機密印刷をする場合、代行印刷/並行印刷はできません。

🔍 参照

Infoprint Navigatorの使いかたについては、ヘルプを参照してください。

拡張1394ボード（オプション）用ツール

詳しくはReadmeファイルまたは拡張1394ボードに付属の使用説明書を参照してください。

❖ ファイル格納場所

CD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

UTILITY¥1394

- 対象OS
Microsoft Windows 2000/XP日本語版

TrueTypeWorld

❖ ファイル格納場所

CD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

- TrueTypeWorld Windows 95版

FONTS¥WIN95NT



参照

インストール対象のOSについては、P.84「基本仕様」を参照してください。

❖ 書体見本

以下のTrueTypeフォント20書体が格納されています。

羽衣L

愛の広がる美しいフォント

羽衣E

愛の広がる美しいフォント

高橋隷書体

愛の広がる美しいフォント

江戸文字勸亭流

愛の広がる美しいフォント

行刻

愛の広がる美しいフォント

半古印体

愛の広がる美しいフォント

行書体

愛の広がる美しいフォント

祥南行書体

愛の広がる美しいフォント

正楷書体

愛の広がる美しいフォント

創英丸ポップ体

愛の広がる美しいフォント

創英丸ポップ体

愛の広がる美しいフォント

白洲ペン楷書体

愛の広がる美しいフォント

白洲行草書体

愛の広がる美しいフォント

白洲太楷書体

愛の広がる美しいフォント

平成角ゴシック体™ W3

愛の広がる美しいフォント

平成角ゴシック体™ W9

愛の広がる美しいフォント

平成丸ゴシック体™ W4

愛の広がる美しいフォント

平成丸ゴシック体™ W8

愛の広がる美しいフォント

平成明朝体™ W3

愛の広がる美しいフォント

平成明朝体™ W9

愛の広がる美しいフォント

各書体のフォント名、字母メーカーは以下のとおりです。

フォント名	書体名	字母メーカー名
HG～	羽衣L	株式会社大谷デザイン研究所
HG～	羽衣E	株式会社大谷デザイン研究所
HG～	高橋隸書体	株式会社ブリッジ
HG～&HGP～&HGS～	江戸文字勘亭流	株式会社晃文堂
HG～&HGP～&HGS～	行刻	株式会社シイアンドジィ
HG～&HGP～&HGS～	半古印体	株式会社シイアンドジィ
HG～&HGP～&HGS～	行書体	株式会社リコー
HG～&HGP～&HGS～	祥南行書体	有澤祥南
HG～&HGP～&HGS～	正楷書体	日本活字工業株式会社
HG～&HGP～&HGS～	創英角ポップ体	株式会社創英企画
HG～&HGP～&HGS～	創英丸ポップ体	株式会社創英企画
HG～&HGP～&HGS～	白洲ペン楷書体	日本書技研究所
HG～&HGP～&HGS～	白洲行草書体	日本書技研究所
HG～&HGP～&HGS～	白洲太楷書体	日本書技研究所
HG～&HGP～&HGS～	平成角ゴシック体™ W3	(財) 日本規格協会
HG～&HGP～&HGS～	平成角ゴシック体™ W9	(財) 日本規格協会
HG～&HGP～&HGS～	平成丸ゴシック体™ W4	(財) 日本規格協会
HG～&HGP～&HGS～	平成丸ゴシック体™ W8	(財) 日本規格協会
HG～&HGP～&HGS～	平成明朝体 W3	(財) 日本規格協会
HG～&HGP～&HGS～	平成明朝体 W9	(財) 日本規格協会

※フォント名の『～』の個所には書体名が入ります。『HG～』のみの場合は和文プロポーションナルに対応していません。

基本仕様

7,602文字 (MS標準キャラクタセットに準拠、JIS漢字第一水準、第二水準を含む)
 フォーマット/Microsoft Windows 95日本語版準拠のTrueType Collection形式 (拡張子: ttc)

補足

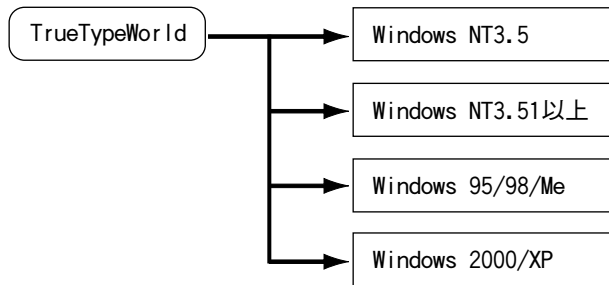
- Windows 95以降で和文プロポーションナルフォントを使用できるようになります。
- フォントファイルに組み込まれたフォント情報によって書体表示名が異なります。

「HGP～」	半角文字・非漢字についてプロポーションナルピッチの情報を格納
「HGS～」	半角文字についてプロポーションナルピッチの情報を格納
「HG～」	固定ピッチ情報のみ格納

- 和文プロポーションナル機能を使用するには、TrueType Collectionに対応しているアプリケーションが必要です。

❖ インストール対応図

Windows 95版は、以下のOSに対してインストールすることができます。



→ : インストールできます

Z-UR011J

3

Windowsへのインストール

ここでは、操作例としてWindows 95/98/Meへのインストール方法を説明しています。その他のOSへのインストール方法については、OSに付属の説明書を参照してください。

制限

- インストールされているフォント数が多いとシステムが不安定になる恐れがあります。
- リモートドライブ（ネットワーク上のドライブ）にインストールしないでください。アプリケーションからフォントを選択するときに他のフォントが見えなくなるなどの障害が発生する恐れがあります。

補足

- Windowsをインストールしたハードディスクに、1書体当たり約2～8MB（書体によって異なります）の空き容量が必要です。
- インストール後、フォント名は、Windows 95版フォントでは3つの書体名「HG～」、「HGP～」、「HGS～」と表示されます。たとえば「行書体」の場合、コントロールパネルのフォントフォルダの中では、フォント名が「HG行書体&HGP行書体&HGS行書体」と表示されます。

- 1** [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[コントロールパネル] をクリックします。
- 2** [コントロールパネル] の [フォント] をダブルクリックします。
- 3** [ファイル] メニューの [新しいフォントのインストール] をクリックします。
- 4** CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
- 5** [ドライブ] ボックスのドロップダウンメニューからCD-ROMドライブを選択します。
- 6** [フォルダ] ボックスで、[Fonts] → [Win95nt] の順にフォルダを開きます。
- 7** [フォントの一覧] ボックスにフォント名が表示されるので、インストールするフォントをクリックして反転表示させます。
- 8** [フォントフォルダにフォントをコピーする] に/印が付いていることを確認し、[OK] をクリックします。

これでインストールは終了です。

ヘルプ

Webブラウザによるネットワークインターフェースボードの設定ヘルプや、印刷条件の設定方法についてのヘルプが格納されています。

❖ ファイル格納場所

- Web ブラウザによる設定ヘルプ

- 日本語版

HELP¥WSMHLP¥JA

- 英語版

HELP¥WSMHLP¥EN

補足

- Webブラウザによるイーサネットボードの設定ヘルプがHTML形式で格納されています。
- Internet Explorer4.01以上またはNetscape Navigator4.06以上のWebブラウザを起動し、「index.html」を開いてお読みください。